

平成 29 年 3 月 1 日

保護者の皆様

日進市立日進西中学校長 久保田 力

### 学校診断アンケート「より魅力ある日進西中学校にするために」の結果について

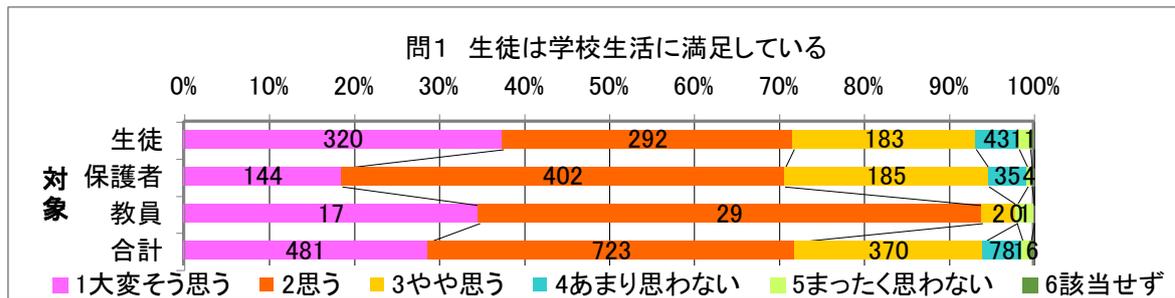
日頃は、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

本校では、1月に、学校診断アンケート「より魅力ある日進西中学校にするために」を、生徒・保護者・教職員を対象に実施いたしました。

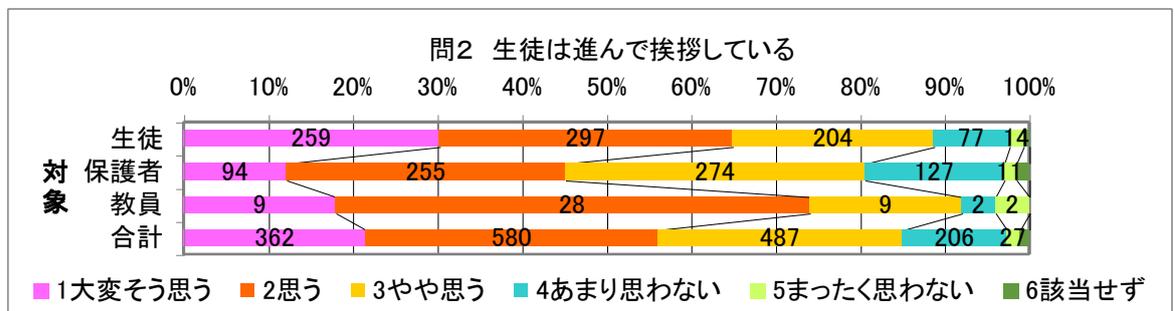
回答数は、生徒 869名、保護者 776名、教職員 50名でした。集計ができましたので、「割合グラフ」の提示と分析をお知らせいたします。

この集計結果を受け止め、「より魅力ある学校づくり」を進めてまいります。ご協力ありがとうございました。

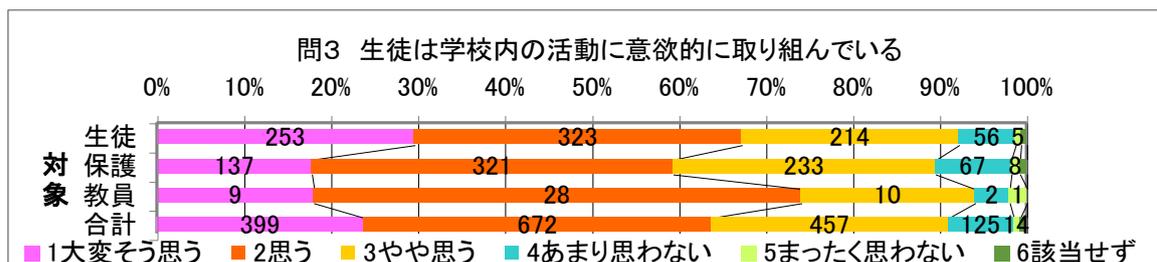
※グラフの中の「数字」は、人数を表しています。それぞれの設問に、「無回答」がありますので、合計人数は一定ではありません。また、「%」は、生徒・保護者・教員の各々に対する割合です。



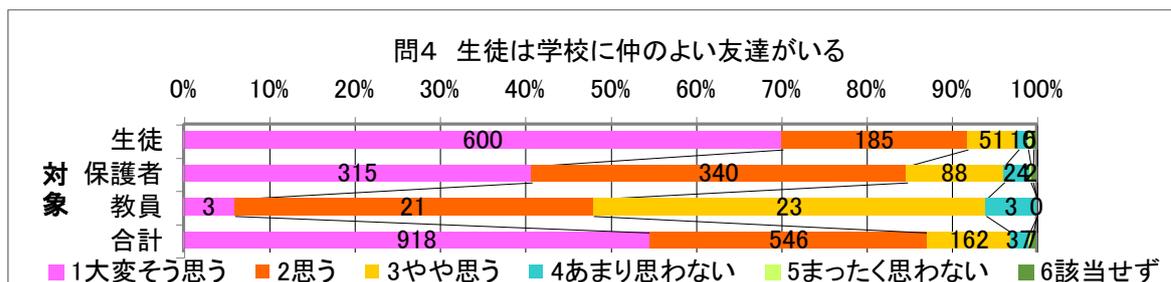
「学校生活満足度」は、三者ともに90%を越え、高い割合にある。この3年間で、各対象ごとに、3%~5%の上昇が見られ、学校生活に満足している様子がうかがえる。今後は、生徒自身の満足度を、より高くしていくことを課題としていきたい。



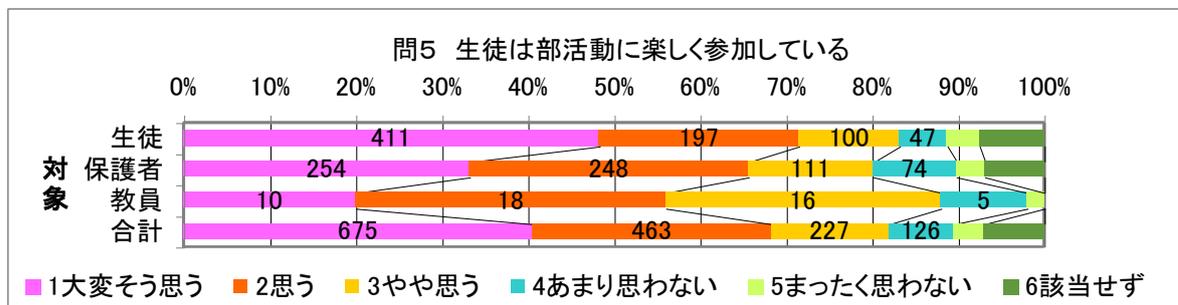
生徒・教員の挨拶に対する意識は高い。保護者の割合が少し低いので、学校内だけではなく、地域社会でも、進んで挨拶できるようにしていきたい。PTAの「あいさつ運動」や生徒会・評議会の取組を有効に活用することを考えていく。



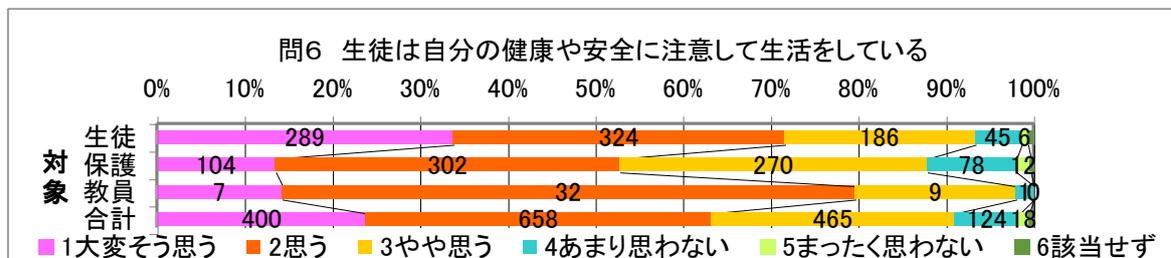
学校内の活動に対しては、三者とも評価が高い。保護者の割合が少し低いので、意欲的に取り組んでいる生徒の様子を広めていきたい。



生徒自身は、「仲の良い友達がいる」と70%以上が「大変そう思う」と意識している。しかし、教員は、その割合がかなり低い。今後は、スマートフォン等の機器を通じての友達関係など、学校生活で、なかなか表面に出てこない交友関係の把握をすることが肝心と思われる。

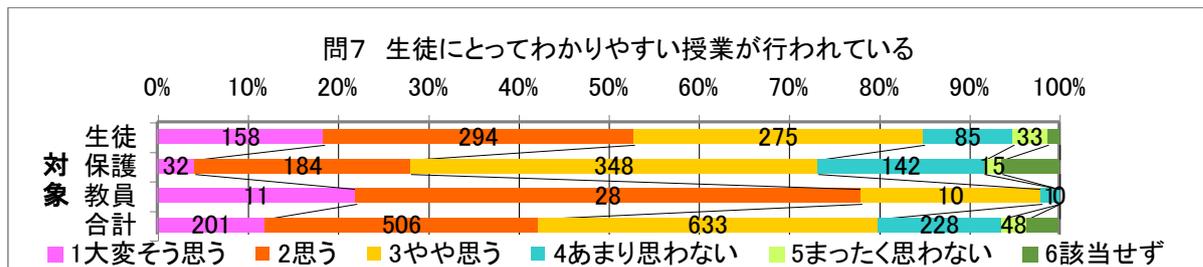


「部活動に楽しく参加している」と思っている生徒の割合は多いが、10%くらいは「楽しさ」をあまり感じていない。部活動に適応している生徒とのバランスを考えて、過熱すぎないように指導していきたい。

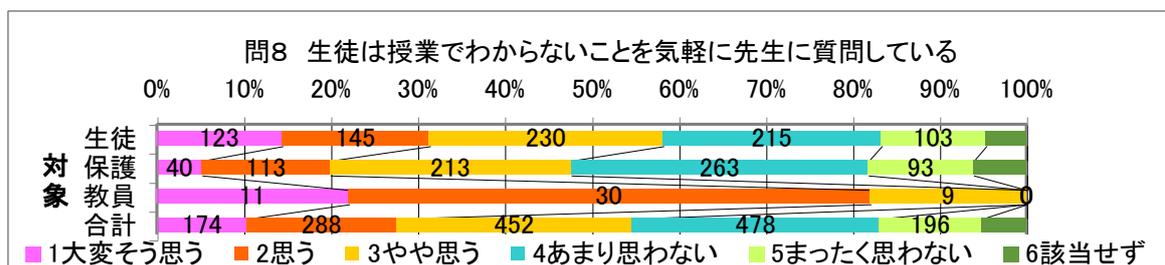


「健康や安全面」への教員の意識は高い。生徒人数の多さへの対応と、施設・設備面の老朽化も含めて「健康・安全面」に配慮していきたい。

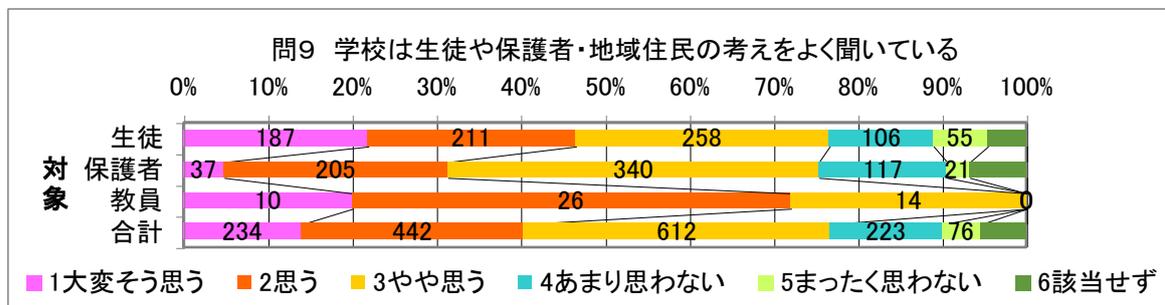
〈裏面へ続きます〉



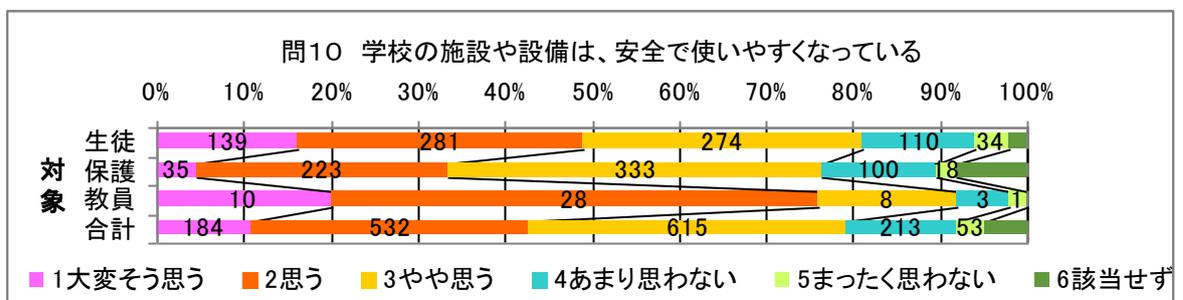
教員は、「わかりやすい授業を行っている」という意識が95%を超えているが、生徒・保護者は、「大変そう思う、思う」という割合が低い。すべての生徒にとって「わかりやすい授業」となるように、さらに教員は工夫をしていくことが必要である。



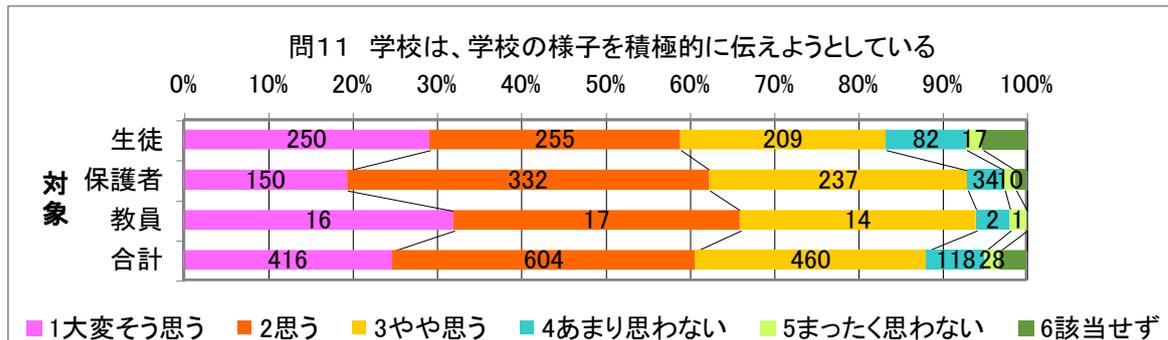
「わからないところを気軽に質問すること」は、生徒にとっては難しいようである。テスト週間中に、「テスト前質問大作戦」の日を設定するなどして質問に答えているが、授業の終わりに教室に残るなどして、疑問点が解消できるような工夫をしていきたい。



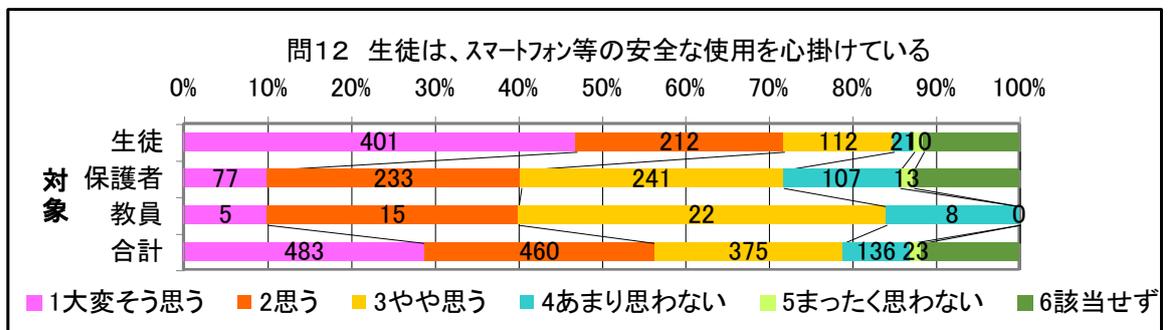
すべての教員は「考えをよく聞いている」と思っているが、生徒・保護者の割合はそれほど高くない。真摯に受け止めて、耳を傾けていきたい。



次年度に、「開校 40 年目」を迎え、施設・設備の老朽化とは向き合っていかなければならない。「安全」な学校生活のために、日常の点検などをより重視していきたい。

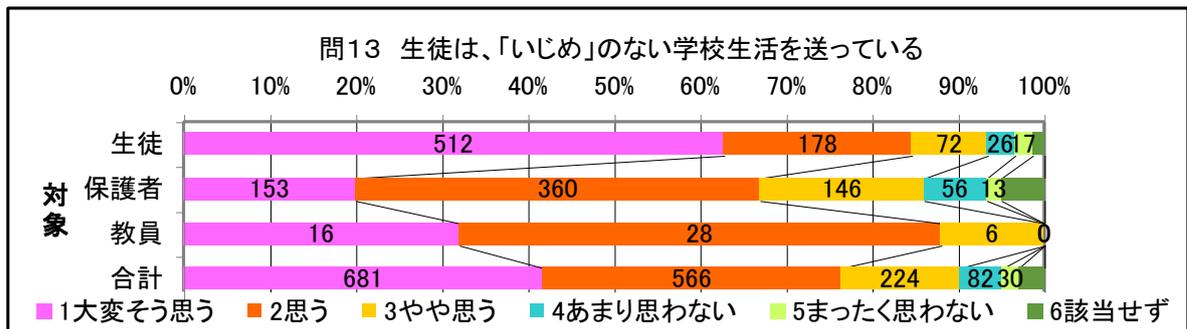


今年度も、「日進西中学校のホームページ」の充実に力を注いだ。授業日は毎日更新し、生徒の学校生活での様子を地域・家庭に発信した。「学校便り、学年便り」等の月例の紙媒体も、生徒の感想・写真を多く載せ、生き生きとした様子が伝わるように心がけた。



今年度も、「携帯電話やスマートフォン等の安全な使用のお願い」という文書を、夏季休業前に全校生徒に配布した。生徒の80%以上が、安全な使用を心掛けているようである。

しかし、個人が特定できてしまう画像をアップしたり、誹謗・中傷と感じられる内容を掲示板に載せたりというトラブルが起きたこともあった。家庭・学校・地域で、生徒が正しく携帯電話やスマートフォン等を使えるように、さらに啓発を進めていきたい。



10月・1月に、全校生徒を対象に、「いじめアンケート」を実施した。日常生活の中で、悪口を言ったり、陰でうわさ話をしたりという「いじめ」に大きく発展していきそうな事案を把握することに努め、誰もが安心・安全に、楽しく学校生活を送れるように、今後も取り組んでいきたい。